

## ご あ い さ つ

令和6年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

この市政年報は、市政の概要を記録し市民の皆様に提供するとともに、市政運営の成果を後世に伝えるために作成しております。



令和6年度を振り返りますと、フランス・パリを中心にオリンピック・パラリンピックが開催され、日本中がスポーツに盛り上がった年でありました。そのような中、本市は全日本女子野球連盟より全国で16番目となる「女子野球タウン」に認定されました。これは、これまでの栃木さくらカップ開催の実績が評価されたものであり、今後も、女子野球の普及と併せて、女性活躍のまちづくりを推進してまいります。

また、令和3年度から整備を進めてまいりました栃木インター産業団地において、10月に国内大手のデータセンター事業者等の立地が内定し、令和7年3月に土地の引き渡しを行いました。今回の分譲により、新たな雇用の創出と固定資産税等の市税の収入増を見込んでいるほか、地元経済への波及効果も期待できると考えております。今後も、引き続き、新たな雇用の創出及び自主財源の確保に向け、産業団地の整備を進めてまいります。

さらに、本市の公共施設再編の先導的モデル事業に位置付け、総合支所・公民館・図書館の複合施設として整備してまいりました都賀総合支所を、令和7年2月25日に開庁いたしました。都賀地域の拠点施設として多くの市民の方にご利用いただくとともに、二十歳の集いや文化祭など、地域のイベント会場として、賑わいの創出に努めてまいります。

今後におきましても、市民の皆様一人ひとりが幸せを感じられるよう、第2次栃木市総合計画に掲げる将来都市像「豊かな自然と共生し優しさと強さが調和した活力あふれる栃木市」の実現を目指して、各種施策の推進に取り組んでまいりますので、皆様の更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月

栃木市長 大川 秀子